

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	長期間、身体拘束防止に関する勉強会や研修が開かれていない。また、身体拘束防止マニュアルの存在を知らない職員も多い。職員間での共通認識を得るためにも、勉強会の開催やマニュアル活用を期待したい。	マニュアルによる身体拘束防止についての勉強会し、身体拘束についての知識を徹底する。	H25.10月のスタッフミーティングにおいて、スタッフ全員に身体拘束防止マニュアルを配布、勉強会を実施し、身体拘束についての知識習得、スキルの平準化を図った。	1ヶ月
2	23	利用者の現在を見るだけでなく、生活歴などを含めて知ることで、その人が大切にしていることをさらに深く理解し、いっそうのケア向上につながるよう、期待したい。	ご家族様からご利用者の過去について聴取し、スタッフ全員に情報の共有化を図ることにより、一層のケア向上を図る。	ご利用者入所時、ご利用者およびご家族から、できるだけ詳しく過去の事柄について聴取し、スタッフ全員に情報の共有化を図ることとした。過去の楽しかった頃、活躍された頃の話題を、より多く知ることにより、より一層ご利用者との距離が縮まったと思う。	1ヶ月
3	35	2階は本当にベランダに逃げられるのかの再検討を期待したい。また、災害対策強化が求められる中、職員のさらなる意識向上を期待したい。	階段室への避難についても検討する。	H25.10月、ご利用者9名全員をベランダに誘導したが、全員ベランダにでることはできた。また、寝たきりのご利用者を含め車イスのご利用者を階段踊り場に誘導実施した。ベランダ、階段踊り場ともに避難をすることはできた。定期的にミーティングにおいて、緊急時対応についての訓練を行うこととした。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。